

2016（平成28）年2月5日
洛和会音羽病院 救命救急部

県境を越えて救命活動に挑む

～洛和会音羽病院・済生会滋賀県病院・京都市消防局がドクターヘリ連携訓練～

洛和会音羽病院はドクターヘリの導入に向けた、連携訓練を京都市消防局、京滋ドクターヘリ（済生会滋賀県病院）と協力して本年2月18日に実施します。同院は、大規模災害が起こった際に医療機関の拠点となる、京都府災害拠点病院に昨年4月、指定されており、ドクターヘリ運用は必須です。今回は継続的な運用を見越した連携訓練となります。

運用が開始されれば、京都府南部と滋賀県全域から、平時・災害時を問わず、傷病者（主に緊急処置が必要な脳・心臓疾患や重傷外傷の方）への初期治療がヘリ内で可能となり、手術成功率や手術後の回復にもより良い効果が期待されます。特に滋賀県に隣接する当院は、受入医療機関の少ない滋賀県からの傷病者受け入れに期待されています。

<開催日時> 2月18日（木）13:05～（洛和会音羽病院、京都将軍塚ヘリポート）

<概要>

13:05 洛和会音羽病院は済生会滋賀県病院からドクターヘリでの傷病者の受入要請を受け、医師を乗せたドクターカー、ラピッドカーが京都将軍塚ヘリポートへ出発。

13:50 済生会滋賀県病院からドクターヘリで傷病者が出発。

13:57 京都将軍塚ヘリポートにドクターヘリが到着し、ドクターカーに傷病者を移乗し、洛和会音羽病院へ救急搬送。ドクターカー内の傷病者の状況は映像伝送システムで洛和会音羽病院 救命救急センター・京都 ER にもデータ送信し共有。

<特記>

民間病院 未導入の最新技術「映像伝送システム」を試行。ドクターカーから、傷病者の映像や生体情報（心電図・心拍数、血圧など）をリアルタイムで送信し、受け入れ先の病院でも患者の状態が確認できるものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

連絡先：洛和会音羽病院 救命救急部 山本曜一
TEL：075(593)4111（代）

※別途、訓練計画書がありますので、

ご希望される方にはお送りいたします。

【洛和会ヘルスケアシステム 概要】

洛和会丸太町病院、洛和会音羽病院、洛和会音羽記念病院、洛和会音羽リハビリテーション病院、洛和会東寺南病院の5つの病院と 丸太町リハビリテーションクリニックなど 4つのクリニックからなる医療部門と、介護部門、さらに健診センター、保育園、関連会社などが連携・協力しながら、京都と滋賀、大阪、東京をカバーする「医療」「介護」「健康・保育」「教育・研究」の総合ネットワークです。